

2019/7~2019/9

にしん景況レポート

Vol.

14

2019/10



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2019年7~9月の景気の現状と2019年10~12月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2019年7~9月の実績(9月については予想)
2019年10~12月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の360社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2019年7~9月
前期 = 2019年4~6月
前年同期 = 2018年7~9月
来期 = 2019年10~12月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	153	49	22	18	25	19	20
三木地区	53	17	10	5	8	9	4
神戸地区	154	24	24	17	40	26	23
業種合計	360	90	56	40	73	54	47

● 今期の景況

今期(2019年7月～9月)の全業種における業況判断D.I.は2.5となり、前期実績と比して0.6ポイント低下した。売上額判断D.I.は9.4となり、前期実績と比して4.9ポイントの改善、収益判断D.I.は3.9となり、前期実績と比して2.5ポイント改善した。

売上額判断D.I.の前年同期比は8.9、収益判断D.I.の前年同期比は3.3となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲34.5となり、前期実績より3.2ポイント低下し、調査開始の2016年4月から依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期(2019年10月～12月)の予想業況判断D.I.は0.6と今期実績から低下する見通しとなっている。また、予想売上額判断D.I.は10.3、予想収益判断D.I.は3.3となり、今期実績から売上は増加するが収益は低下する見通しとなっている。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	14	70	201	65	10	360
回答割合	3.9%	19.4%	55.8%	18.1%	2.8%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 23.333\% - 20.833\% \div 2.5$$

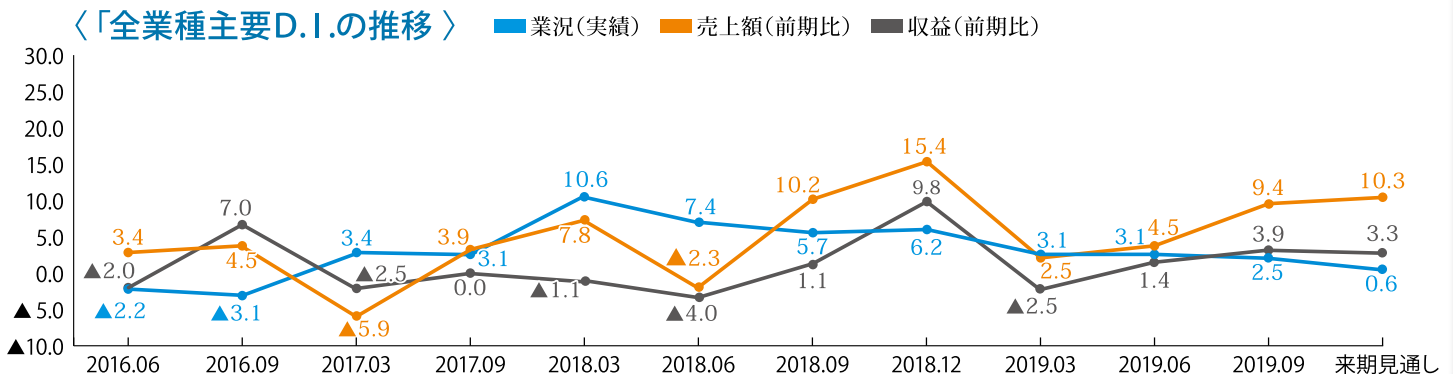
〈2019年7～9月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	6.5	2.0	9.1	▲16.7	12.0	21.1	15.0
三木地区	▲15.1	▲35.3	0.0	▲60.0	▲12.5	11.1	25.0
神戸地区	4.5	4.2	4.2	▲5.9	▲5.0	26.9	4.3
全地区	2.5	▲4.4	5.4	▲17.5	0.0	22.2	10.6

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	3.1	2.5	0.6	販売価格(前期比)	8.1	5.3	9.5
売上額(前期比)	4.5	9.4	10.3	仕入価格(前期比)	32.9	19.2	20.0
売上額(前年同期比)	9.8	8.9	—	資金繰り(楽一苦)	4.5	▲3.3	▲2.5
収益(前期比)	1.4	3.9	3.3	人手不足(過剰一不足)	▲31.3	▲34.5	▲37.7
収益(前年同期比)	4.8	3.3	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲4.4となり、前期実績と比して4.4ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲6.7、収益判断D.I.は▲5.6となり、前期実績と比してそれぞれ1.1ポイント、3.4ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は1.1、収益判断D.I.の前年同期比は▲5.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上は増加したが収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲32.6となり、前期実績から5.6ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲7.8と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は12.2、予想収益判断D.I.は6.7となり、今期実績から売上および収益は改善する見通しとなっている。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	0.0	▲4.4	▲7.8	販売価格(前期比)	4.5	4.4	5.6
売上額(前期比)	▲5.6	▲6.7	12.2	仕入価格(前期比)	40.4	21.1	30.0
売上額(前年同期比)	▲7.9	1.1	—	資金繰り(楽-苦)	13.5	2.2	▲1.1
収益(前期比)	▲2.2	▲5.6	6.7	人手不足(過剰-不足)	▲27.0	▲32.6	▲31.5
収益(前年同期比)	▲11.2	▲5.6	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は5.4となり、前期実績と比して5.3ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は25.0、収益判断D.I.は17.9となり、前期実績と比して収益判断D.I.は変わらないが売上額判断D.I.は5.4ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は16.4、収益判断D.I.の前年同期比は14.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲28.6となり、前期実績から12.5ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は5.4と今期実績から変わらない見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.および予想収益判断D.I.は3.6となり、今期実績から売上および収益は低下する見通しとなっている。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	10.7	5.4	5.4	販売価格(前期比)	7.1	▲3.6	3.6
売上額(前期比)	19.6	25.0	3.6	仕入価格(前期比)	28.6	8.9	8.9
売上額(前年同期比)	23.6	16.4	—	資金繰り(楽-苦)	3.6	▲5.4	▲3.6
収益(前期比)	17.9	17.9	3.6	人手不足(過剰-不足)	▲16.1	▲28.6	▲33.9
収益(前年同期比)	16.4	14.5	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲17.5となり、前期実績と比して7.5ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は2.5、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は変わらないが収益判断D.I.は2.5ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲17.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲17.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲17.5となり、前期実績から2.5ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲35.0と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は2.5、予想収益判断D.I.は▲10.0となり、今期実績から売上は変わらないが収益は低下する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲25.0	▲17.5	▲35.0	販売価格(前期比)	5.0	0.0	10.0
売上額(前期比)	2.5	2.5	2.5	仕入価格(前期比)	30.0	17.5	20.0
売上額(前年同期比)	▲7.5	▲17.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲22.5	▲25.0	▲25.0
収益(前期比)	▲2.5	0.0	▲10.0	人手不足(過剰-不足)	▲20.0	▲17.5	▲30.0
収益(前年同期比)	0.0	▲17.5	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して17.8ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は16.4、収益判断D.I.は11.0となり、前期実績と比してそれぞれ4.1ポイント、1.4ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は16.4、収益判断D.I.の前年同期比は9.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲47.9となり、前期実績よりも1.3ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は0.0と今期実績から変わらない見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は5.5、予想収益判断D.I.は▲2.7となり、今期実績から売上および収益は低下する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	17.8	0.0	0.0	販売価格(前期比)	12.3	5.5	20.8
売上額(前期比)	12.3	16.4	5.5	仕入価格(前期比)	31.5	15.1	16.4
売上額(前年同期比)	21.9	16.4	—	資金繰り(楽-苦)	▲2.7	▲12.3	▲4.1
収益(前期比)	9.6	11.0	▲2.7	人手不足(過剰-不足)	▲46.6	▲47.9	▲52.1
収益(前年同期比)	15.1	9.6	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は22.2となり、前期実績と比して12.9ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.が25.9、収益判断D.I.が5.6となり、前期実績と比してそれぞれ27.8ポイント、16.7ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は27.8、収益判断D.I.の前年同期比は11.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲44.4となり、前期実績から変わらず依然として人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は25.9と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は25.9、予想収益判断D.I.は14.8となり、今期実績から売上は変わらないが収益は改善する見通しとなっている。

〈 建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	9.3	22.2	25.9	販売価格(前期比)	11.1	11.1	7.4
売上額(前期比)	▲1.9	25.9	25.9	仕入価格(前期比)	37.0	37.0	27.8
売上額(前年同期比)	20.4	27.8	—	資金繰り(楽-苦)	9.3	5.6	7.4
収益(前期比)	▲11.1	5.6	14.8	人手不足(過剰-不足)	▲44.4	▲44.4	▲46.3
収益(前年同期比)	3.7	11.1	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は10.6となり、前期実績と比して17.1ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲2.1、収益判断D.I.は▲4.3となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は4.3ポイント低下、収益判断D.I.は2.2ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は4.3、収益判断D.I.の前年同期比は6.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲27.7となり、前期実績から0.6ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は12.8と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は10.6、予想収益判断D.I.は4.3となり、今期実績から売上および収益は改善する見通しとなっている。

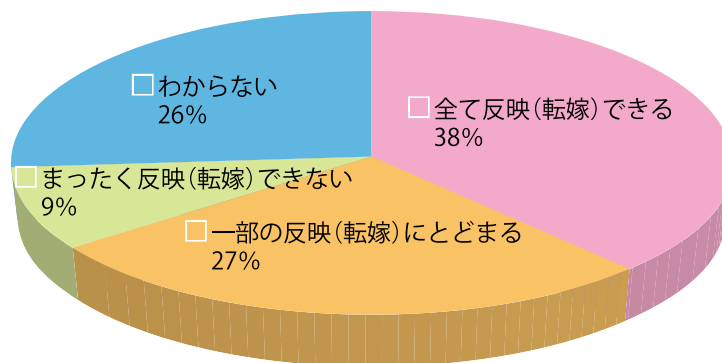
〈 不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲6.5	10.6	12.8	販売価格(前期比)	8.9	14.9	8.5
売上額(前期比)	2.2	▲2.1	10.6	仕入価格(前期比)	22.7	14.9	10.6
売上額(前年同期比)	10.9	4.3	—	資金繰り(楽-苦)	17.4	10.6	6.4
収益(前期比)	▲6.5	▲4.3	4.3	人手不足(過剰-不足)	▲28.3	▲27.7	▲28.3
収益(前年同期比)	10.9	6.4	—				

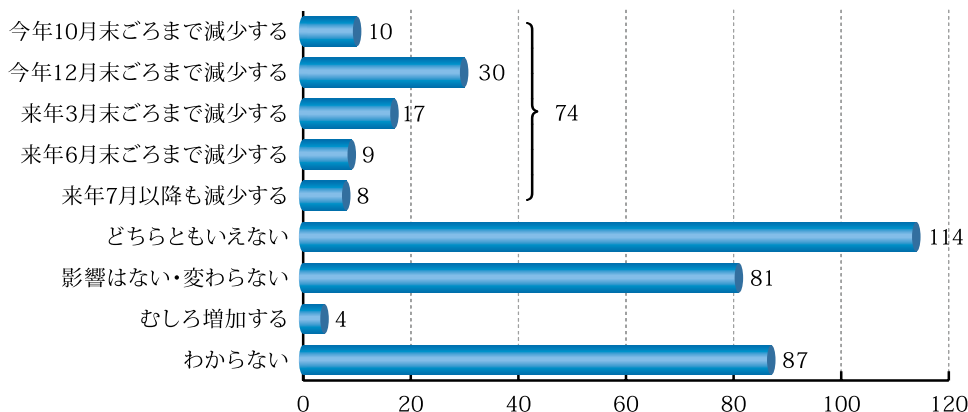
特別調査：消費税率引き上げの影響と対応について

消費税率引き上げ分の販売価格への反映（転嫁）について

消費税率引き上げ分の販売価格への反映（転嫁）については、「全て反映（転嫁）できる（38%）」が最も多く、次いで「一部の反映（転嫁）にとどまる（27%）」、「わからない（26%）」、「まったく反映（転嫁）できない（9%）」の順となった。



消費税率引き上げは当面の売上げに対し、どのような影響を与えるかについて

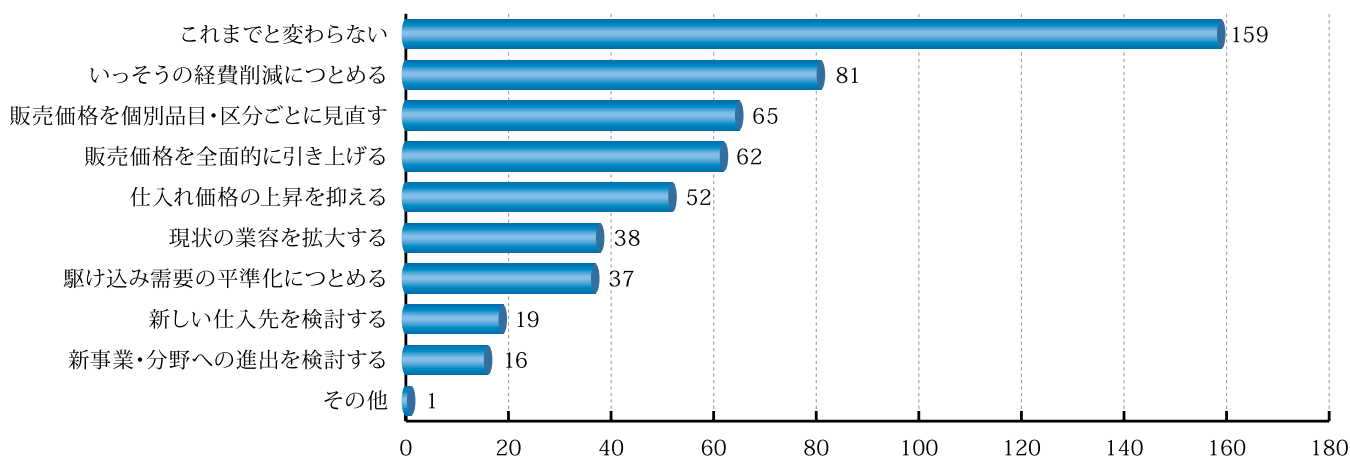


消費税率引き上げによる売上の影響について質問しました。「どちらともいえない（114件）」との回答が最も多く、次いで「わからない（87件）」となった。

回答の傾向から売上げに対する影響を図りかねている現状がうかがえます。

その中でも「影響はない・変わらない（81件）」が、「減少する（74件）」を上回る結果となりました。

消費税率引き上げ後の収益を確保するための対策について

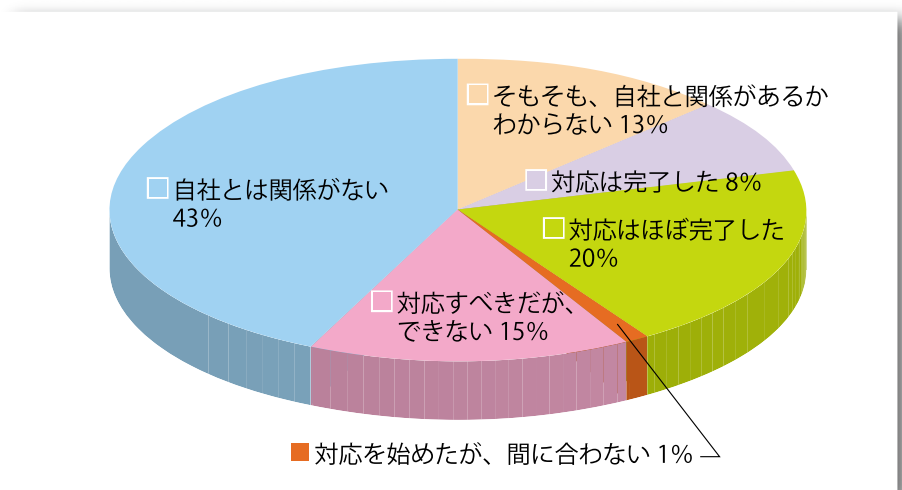


消費税率引き上げ後の収益を確保するための対策を質問しました。

「これまでと変わらない（159件）」が最も多く、次いで「いっそうの経費削減につとめる（81件）」、「販売価格を個別品目・区分ごとに見直す（65件）」、「販売価格を全面的に引き上げる（62件）」、「仕入れ価格の上昇を抑える（52件）」の順に回答数が多い結果となった。

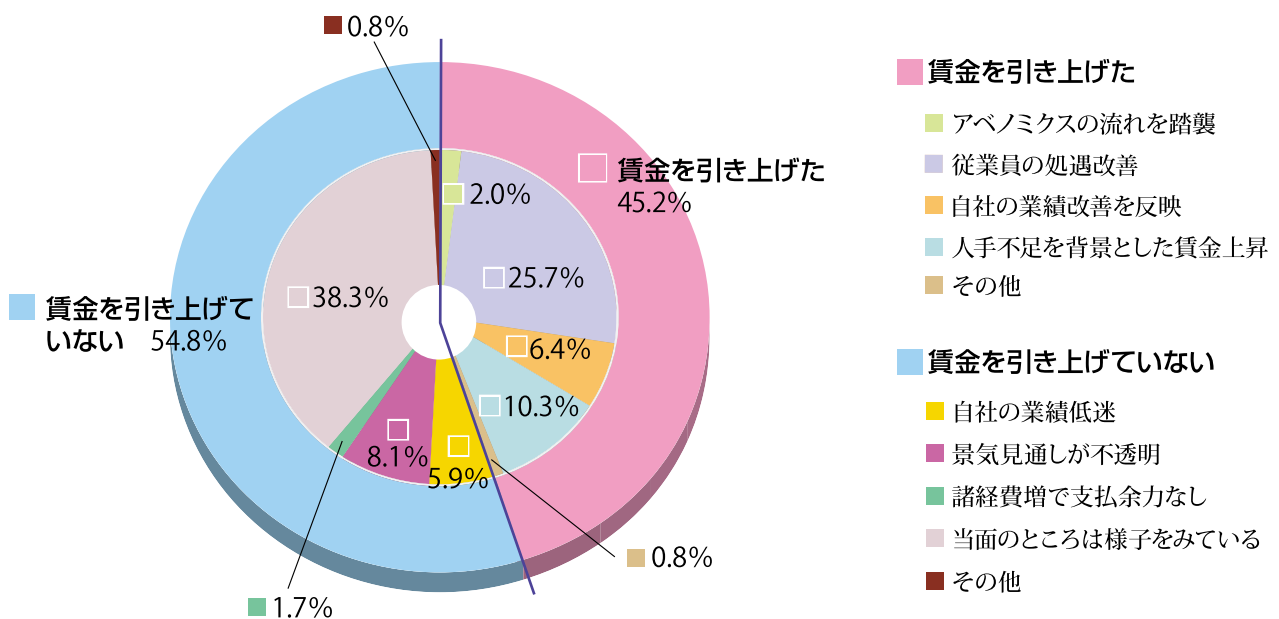
● 軽減税率制度による、レジの改修や帳簿、請求書、価格表示変更などの対応状況について

軽減税率制度による対応状況については、「自社とは関係がない(43%)」が最も多く、次いで「対応はほぼ完了した(20%)」、「対応すべきだが、できない(15%)」、「そもそも、自社と関係があるかわからない(13%)」、「対応は完了した(8%)」、「対応を始めたが間に合わない(1%)」の順となった。



● 消費増税など経済環境が大きく変化しているなかでの賃金の引上げについて

賃金を引き上げた理由と賃金を引き上げていない理由



経済環境が大きく変化する中、今春、賃金を引き上げたかどうか質問しました。

「賃金を引き上げていない(54.8%)」が「賃金を引き上げた(45.2%)」を上回る結果となりました。

賃金を引き上げていない理由として、「当面のところは様子を見ている(38.3%)」が最も多く、次いで「景気見通しが不透明(8.1%)」、「自社の業績低迷(5.9%)」、「諸経費増で支払余力なし(1.7%)」、「その他(0.8%)」の順となった。

賃金を引き上げた理由として、「従業員の処遇改善(25.7%)」が最も多く、次いで「人手不足を背景とした賃金上昇(10.3%)」、「自社の業績改善を反映(6.4%)」、「アベノミクスの流れを踏襲(2.0%)」、「その他(0.8%)」の順となった。

イベント関連

●「明石公園パパたこリレーマラソン」に協賛します！

2012年より当金庫が特別協賛している「明石公園パパたこリレーマラソン」が、今年も明石公園陸上競技場で開催されます。

- 開催日：2019年11月2日(土)
- 開催種目：リレーマラソン、親子マラソン、個人
- 会場：きしろスタジアム(明石公園陸上競技場) ※既に募集は終了しています。
詳細はJTBスポーツステーションホームページ<https://jtbssports.jp/>をご覧ください。

●中小企業の若手社員を集めた合同研修会を実施します！

明石商工会議所との共催で、新入、若手社員の合同フォローアップ研修会を実施します。本研修会では、入社後の問題点の解決や、現場の経験を踏まえた基本の再確認、また、新たな成長目標の設定で、いち早く“一人前のプロ社員”に育てることを目指します。

- 開催日：2019年11月13日(水)9:30~17:30
- 対象：中小企業に勤務する30歳未満の新入・若手社員
- 会場：明石商工会議所 7階ホール

●まずは相談！創業への第一歩「土曜創業相談会」を実施します！

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。どうぞお気軽にご利用ください。

- 開催日：2019年11月9日(土)13:30~17:00
- 会場：明石商工会議所 5階会議室
- 2019年12月14日(土)13:30~17:00
- 2020年1月11日(土)13:30~17:00

●新春吉本バラエティーショー観劇会を実施します！

今年度も神戸国際会館にて「新春吉本バラエティーショー」を開催します。11月からご案内を開始する予定ですので、ぜひご来場ください。

- 開催日：2020年1月7日(火) 2回公演
- 会場：神戸国際会館「こくさいホール」
- 1回目公演 10:30~13:00(予定)
- 2回目公演 15:00~17:30(予定)

商品関連

- キャンペーン商品としてお取り扱いしております以下の商品も是非ご利用ください。

- ★スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのお客様対象)
- ★スーパー定期「年金Jr.」(当庫で年金お受け取りをご予約いただいたお客様対象)
- ★子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるお客様対象)

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを発信しております。LINE公式アカウントでは当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。



<https://www.nisshin-shinkin.co.jp/>




このたびは、第14回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク

 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで